

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学
設置者名	学校法人園田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人間健康学部	総合健康学科	夜・通信	30	0	0	30	13	
	人間看護学科	夜・通信			0	30	13	
	食物栄養学科	夜・通信			0	30	13	
人間教育学部	児童教育学科	夜・通信		0	0	30	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/kamoku/daigaku.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/kamoku/daigaku.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学
設置者名	学校法人園田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学内イントラネットのみで「職員名簿」として公表しているが、対外的には公表していない。
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元兵庫県東播磨県民局長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制へのチェック機能及び経営計画の策定
非常勤	元㈱新販代表取締役社長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制へのチェック機能及び経営計画の策定
非常勤	元㈱夢舞台代表取締役社長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制へのチェック機能及び経営計画の策定
非常勤	兵庫県立大学名誉教授	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制へのチェック機能及び経営計画の策定
非常勤	元尼崎市役所市民局長	2019.5.1～ 2021.5.30	組織運営体制へのチェック機能及び経営計画の策定
(備考)			
添付書類「学校法人園田学園 理事名簿」			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	園田学園女子大学
設置者名	学校法人園田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <p>シラバスの作成項目は、①講義のテーマ、②授業の到達目標、③授業の概要、④授業計画(各回の授業計画、準備学習時間を含む。)、⑤テキスト・参考書、⑥成績評価(評価の方法、評価の内容)、⑦目標に準拠した評価(ルーブリック)、⑧伝達と指示、⑨備考、⑩学生の授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善についての10項目である。上記に加えて、授業の方法(講義・演習・実験・実習の別)も表示している。上記の作成項目を教務課から教員に依頼し、教員が登録した後に、シラバスのチェック期間を設け、学部長、学科長、共通教育委員長、教職課程委員長がチェックを行い、修正期間に修正を行った上で公表している。</p> <p>・授業計画書の作成・公表時期</p> <p>12月上旬から登録開始し、1月末に登録締切、その後に2月中旬のチェック期間、2月下旬の修正期間を経て、3月下旬にWEB上で公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/syllabus/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx">http://www.sonoda-u.ac.jp/syllabus/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>あらかじめ学生に示された授業計画書(シラバス)により、各授業科目の成績評価の方法、成績評価の基準に従って、学修成果の評価が行われている。この学修成果の評価に基づき、単位の授与が行われている。成績評価の方法は、授業科目により、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法を設定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  G P A制度の概要及び分布状況資料については、ホームページ上で公表している。  学期末の履修科目の成績に基づき、あらかじめ設定した方法によりG P Aを算出している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf</a> <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpabunpuyou.pdf">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpabunpuyou.pdf</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページ上で公表している。  学則に定められた卒業の要件を満たした学生に対して、卒業を認定している。卒業の認定は、学部別の教授会で学生の単位修得状況、修業期間を含めて審議し、適切に認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	園田学園女子大学
設置者名	学校法人園田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_taishakutaishouhyou.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_taishakutaishouhyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyokat sudouyuushi_keisannsyo.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyokat sudouyuushi_keisannsyo.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_zaisanmokuroku.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_zaisanmokuroku.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyohoukoku.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_jigyohoukoku.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_kansahoukoku.pdf">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/zaimu/H30_kansahoukoku.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書 対象年度: 2019年度)
公表方法: 公表していない。
中長期計画(名称: 5~10年先を見据えた経営の創造的戦略の推進施策 対象年度: 2018年度~2027年度)
公表方法: 公表していない。中長期計画を基にした当該年度の事業報告をしているため、 2018年度事業報告書の中で見ることができる。 ホームページアドレス <a href="http://www.sonoda-u.ac.jp/university/disclosure.html">http://www.sonoda-u.ac.jp/university/disclosure.html</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/sonodawomenuniversityreport.pdf">https://www.sonoda-u.ac.jp/sonodawomenuniversityreport.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/accreditation2.pdf">https://www.sonoda-u.ac.jp/accreditation2.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間健康学部、人間教育学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/foundingspirit.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/foundingspirit.html</a> ) (概要) <b>&lt;大学の理念&gt;</b> ・教育：経験値教育により、他者と支えあう人間を育成する。 ・研究：健康・教育・生活に関わる基礎的研究を力に、社会が求める独自の応用的・実践的な研究に努める。 ・社会貢献：地域と共に歩みつつ発展する大学として、人と人の「つながり」を大切にした社会貢献を行う。  <b>&lt;大学の使命&gt;</b> ・社会的、精神的、そして経済的に自立した女性を育成する。 ・多様化する社会が直面する課題を発見し、解決できる実学を重視する。 ・地域と共に歩み、地域の活性化と課題解決の地（知）の拠点となる。  <b>&lt;めざすべき人材像（理想像）&gt;</b> 「自ら行動する力」「気づく力」「考えぬく力」を備えた人材の育成をめざす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html</a> ) (概要) <b>人間健康学部</b> 人間健康学部では、卒業要件を満たし、以下の能力を修得した学生に卒業を認定するとともに学位を授与する。  1. 人間の幸せの根源である健康を、地域社会での学びを通じて多面的に追求し、実践することができる専門的な知識と技能を修得している。 2. 他者を尊重し、他者の健康を支えるための気づく力・考えぬく力を身につけている。 3. 身体的、精神的、社会的に健康な社会の実現に向け、主体性をもって協働し課題を解決する力を身につけている。  <b>人間教育学部</b> 人間教育学部の教育理念及び人材育成上の目的は、総合的な人間理解のもと、人間形成の基盤となる教育を総合的かつ実践的に追求し、人びとの生活の質を高め、豊かな社会の形成に貢献できる女性を育成することである。この理念・目的に照らし、以下の能力を修得した学生に卒業を認定するとともに学位を授与する。  1. 豊かな教養的知識と教育・教職に関する専門的知識に基づき、総合的に人間を理解する力 2. 新たな教育課題に対して柔軟に対応できる力 3. 教育現場や地域社会の課題について専門的知識を生かし、総合的に解決方法を探究し、的確に指導・実践する力 4. 教育者として、また社会の一員として高い倫理観、使命感・責任感を持ち、他者と協力して豊かな社会の形成に貢献する力

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：<a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p><b>人間健康学部</b>  人間健康学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次の方針でカリキュラムを編成・実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学部共通科目では、「ライフサイエンス」「生命倫理」「健康づくり」など、人間の本質に関する問題に視野を広げ、専門学習に向けての基礎力を養うとともに、「統計学」などの研究スキルを学ぶための科目を展開する。</li> <li>2. 学科専門科目では、人が健康であることのために必要な専門的・実践的な知識と技能について学ぶ科目を展開する。また、地域課題の解決に寄与するための実践的なコミュニケーション能力を育成しながら、専門知識を十分に活用し応用できる実務的能力を培うための科目を展開する。</li> </ol> <p><b>人間教育学部</b>  人間教育学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、次の方針でカリキュラムを編成・実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性と実践的指導力を育むための人間教育学部基礎科目、専門的知識と技能を習得するための児童教育学科専門科目で構成する。</li> <li>2. 人間教育学部基礎科目は、2系統の科目群で構成する。一つは地域の保育・教育の現場を経験する実習科目群、もう一つは保育・教育者としての資質・能力を高める講義・演習科目群である。これらの学習を通して、将来の自分がどのように現場の課題に対応できるか、また他者を尊重し、支え、導くために必要なことは何かを考える。</li> <li>3. 児童教育学科専門科目は、保育・教育の専門的知識と技能を具体的に学び、習得するための多様な科目を設置する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：<a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/policy.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p><b>人間健康学部</b>  人間健康学部では、人間の健康に興味を持ち、専門的な知識や技能を身に付け、地域や国際社会に貢献する人材を育成する。</p> <p><b>人間教育学部</b>  人間教育学部では、自立した女性として他者と協力して行動し、保育と教育の専門知識を生かして社会に貢献できる人材を育成する。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：<a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/org.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/org.html</a></p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
人間健康学部	—	30人	17人	4人	9人	11人	71人
人間教育学部	—	8人	8人	0人	4人	0人	20人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		108人					109人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://seed.sonoda-u.ac.jp/sndhp/KgApp">https://seed.sonoda-u.ac.jp/sndhp/KgApp</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の教職員が一同に参加する全学FD研修会を年に1度開催している。</li> <li>・教職員と学生が同じテーマで話し合う「授業について話し合う会」を年に1度開催している。</li> </ul>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間健康学部	255人	264人	103%	1026人	1,086人	105%	3人	1人
人間教育学部	95人	54人	56%	384人	231人	60%	2人	2人
合計	350人	318人	90%	1410人	1,317人	93%	5人	3人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間健康学部	261人 (100%)	3人 (1.1%)	227人 (87.0%)	31人 (11.9%)
人間教育学部	94人 (100%)	3人 (3.2%)	86人 (91.5%)	5人 (5.3%)
合計	355人 (100%)	6人 (1.7%)	313人 (88.2%)	36人 (10.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間健康学部	289人 (100%)	245人 (84.8%)	22人 (7.6%)	22人 (7.6%)	0人 (0%)
人間教育学部	98人 (100%)	91人 (92.9%)	0人 (0%)	7人 (7.1%)	0人 (0%)
合計	387人 (100%)	336人 (86.8%)	22人 (5.7%)	29人 (7.5%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) WEBシラバスにより、ホームページ上で授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画を公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) あらかじめ学生に示された授業計画（シラバス）により、各授業科目の成績評価の方法、成績評価の基準に従って、学修成果の評価が行われている。この学修成果の評価に基づき、単位の授与が行われている。成績評価の方法は、授業科目により、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法が設定されている。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間健康学部	総合健康学科	124単位	有・無	48単位
	人間看護学科	124単位	有・無	48単位
	食物栄養学科	124単位	有・無	50単位
人間教育学部	児童教育学科	124単位	有・無	50単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/docs/gpa/gpa.pdf</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.sonoda-u.ac.jp/campuslife/guide.html>  
<https://www.sonoda-u.ac.jp/campuslife/facility.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間健康学部	総合健康学科	760,000円	300,000円	300,000円	
	人間看護学科	1,020,000円	300,000円	560,000円	
	食物栄養学科	760,000円	300,000円	380,000円	
人間教育学部	児童教育学科	760,000円	300,000円	340,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生からの質問や相談を受ける教員のオフィスアワーの時間を設定している。各学期開始時期に、教務課員が成績不振者に対する学習支援指導を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 3年次に進路ガイダンスを必修で実施するとともに、全員と1人30分の個人面談を実施し、個々に異なる進路についてきめ細やかな支援を実施している。また、平日はキャリアカウンセラーが常駐し、事前予約をすることでいつでも専門家に相談できる体制を整えている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生支援基本方針の5つの支援のうちの「生活・健康支援」で目指しているとおおり、学生自らが豊かな学生生活を送るための環境を保障し、学生自身が必要とする学生生活・健康支援を学生の視点にたって、組織的に行っている。具体的には「保健指導室」では看護師が常駐しており、心身の健康について心配事や、急に気分が悪くなったり、けがをしたりしたときは学生支援部と連携をとりながら迅速に対応している。また、学校保健法に基づいて定期健康診断を毎年春に実施。身体測定、内科検診、尿検査、胸部レントゲン検査のほかに、必要に応じて心電図検査も行っている。「学生相談室」では落ち着いた静かな個室で、専門のカウンセラーがじっくり相談にのれる体制を整えている。プライバシーを厳守しながら、学生はもちろん保護者でも相談が可能で、直接話すのが苦手な場合は電話や手紙でも受け付けており、希望によっては何回か継続して相談ができる体制をとるなどの支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <a href="https://www.sonoda-u.ac.jp/university/research.html">https://www.sonoda-u.ac.jp/university/research.html</a>
--